

[野菜部門 令和2年度 指導参考資料]

事 項 名	極早生たまねぎ品種「シャルム」の葉たまねぎ冬どり栽培法																																									
ね ら い	青森県の気象条件において無加温ハウス栽培で冬季に収穫できる栽培品目は限られている。新たな品目として、極早生たまねぎ品種「シャルム」の葉たまねぎ冬どり栽培法を明らかにしたので参考に供する。																																									
指 導 参 考 内 容	<p>1 作型</p> <p>無加温ハウスでの葉タマネギ冬どり栽培では、セット球を定植するセット栽培と、セル苗を定植するセル苗栽培があり、その時期別作業は下表のとおりである。セット栽培では、9月5日～15日に定植、セル苗栽培では、9月1日～15日には種し10月中旬～下旬に定植することで、1月～3月末までの収穫・出荷が可能となる。</p> <table border="1" data-bbox="331 674 1445 898"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セット栽培</td> <td>●は種</td> <td></td> <td>●セット球掘り取り</td> <td></td> <td></td> <td>●セット球定植 (9月5日以降)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●順次収穫・出荷 (1月以降)</td> <td>□□□□→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セル苗栽培</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●は種 (9月1日以降)</td> <td></td> <td>●セル苗定植 は種から約1.5か月後</td> <td></td> <td></td> <td>●順次収穫・出荷 (3月末まで)</td> <td>□□□□→</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 セット栽培（表1、図1、写真1）</p> <p>(1)4月中には種し、9月上～中旬に定植することで、1月には出荷の目安となる地上部重量150g以上となる。</p> <p>(2)は種が4月下旬になる場合は、9月中旬の定植では地上部の生育が遅れるので9月上旬に定植する。</p> <p>(3)地上部重量は、厳冬期であっても増加し続ける。また、球茎比が2を超えて球の肥大が始まると葉が硬くなるので出荷が遅れないようにする。</p> <p>3 セル苗栽培（表2、表3）</p> <p>(1)セル苗のは種は、8月15日以前では、定植時点で球茎比が2を超えて球が肥大してしまうため、9月1日～15日に行う。</p> <p>(2)出荷は3月末まで順次収穫して行う。また、球茎比が2を超えて球の肥大が始まると葉が硬くなるので出荷が遅れないようにする。</p>				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	セット栽培	●は種		●セット球掘り取り			●セット球定植 (9月5日以降)				●順次収穫・出荷 (1月以降)	□□□□→		セル苗栽培						●は種 (9月1日以降)		●セル苗定植 は種から約1.5か月後			●順次収穫・出荷 (3月末まで)	□□□□→
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																														
セット栽培	●は種		●セット球掘り取り			●セット球定植 (9月5日以降)				●順次収穫・出荷 (1月以降)	□□□□→																															
セル苗栽培						●は種 (9月1日以降)		●セル苗定植 は種から約1.5か月後			●順次収穫・出荷 (3月末まで)	□□□□→																														
期待される 効 果	冬季の収穫、出荷が可能であり農業所得の向上に寄与できる。																																									
利 用 上 の 注 意 事 項	<p>1 セット球の育苗、保管方法およびたまねぎの栽植様式等は、平成31年度指導参考資料「極早生たまねぎ品種「シャルム」の冬どり栽培法」を参考にする。</p> <p>2 セル苗栽培の8月1日～15日は種では定植後に生育及び球の肥大のバラツキが大きくなる。</p> <p>3 農薬は、「葉たまねぎ」もしくは「野菜類」に登録があるものを使用する。</p>																																									
問 い 合 せ 先 (電話番号)	農業総合研究所 花き・園芸部 (0172-52-4341)	対 象 地 域 及び経営体	県下全域の野菜 作経営体																																							
発 表 文 献 等	令和元年度 農林総合研究所試験成績概要集																																									

【根拠となった主要な試験結果】

表1 セット栽培での葉たまねぎの生育

(平成30年 青森農林総研)

は種日	定植日	調査日1月18日						収穫日4月3日					
		地上部重量(g)	標準偏差	球重(g)	球径(mm)	球茎比	軟白部長(cm)	地上部重量(g)	標準偏差	球重(g)	球径(mm)	球茎比	軟白部長(cm)
4月3日	8月24日	311.1	(51.2)	182.0	76.5	3.5	12.0	499.0	(292.6)	246.3	87.7	3.0	17.3
	9月5日	288.8	(88.5)	95.4	55.8	1.8	16.4	768.5	(244.4)	213.1	79.5	1.7	24.6
	9月15日	199.9	(77.2)	48.5	43.4	1.6	8.3	587.2	(165.3)	163.1	70.2	1.8	25.4
5月1日	8月24日	246.5	(110.6)	83.7	51.8	1.8	10.2	-	-	-	-	-	-
	9月5日	204.8	(89.6)	59.2	45.8	1.7	8.7	-	-	-	-	-	-
	9月15日	143.9	(53.0)	32.3	35.7	1.5	8.2	-	-	-	-	-	-

(注) は種日は、平成30年4月3日及び5月1日、その後、セット球を6月に掘り取り、定植日に植え付けた。地上部重量は、枯葉、根を除いた全体の重量。球重は、茎部を2cm残して切除。球茎比は、球径/茎径で算出し球肥大の目安。軟白部長は、球下部から葉の分岐下部までを測定。

表2 は種日の違いによるセル苗の生育

(平成30年 青森農林総研)

は種日	調査日	地上部重量(g)	草丈(cm)	球径(mm)	茎径(mm)	球茎比
8月	1日 9月18日	2.6	29.4	11.1	3.6	3.2
	15日 10月3日	2.0	27.3	9.3	3.4	2.7
9月	1日 10月19日	2.0	30.4	7.1	4.0	1.8
	15日 11月2日	1.5	25.7	6.1	3.8	1.6

(注) 地上部重量、球茎比は表1と同様。

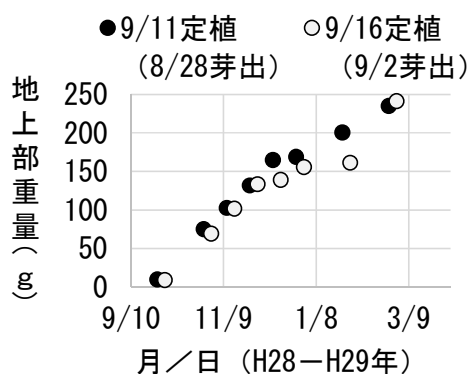


図1 セット球定植後の生育

(平成28年 青森農林総研)

(注) 芽出により発根萌芽させた後に定植。

表3 セル苗栽培での葉たまねぎの生育

(平成30年 青森農林総研)

は種日	定植日	調査日 1月25日						収穫日 4月3日					
		地上部重量(g)	標準偏差	球重(g)	球径(mm)	球茎比	軟白部長(cm)	地上部重量(g)	標準偏差	球重(g)	球径(mm)	球茎比	軟白部長(cm)
9月1日	10月19日	39.3	(9.0)	9.9	23.5	1.5	7.6	272.8	(83.7)	77.2	53.5	1.9	19.6
9月15日	11月2日	15.4	(3.6)	3.4	16.1	1.5	6.5	150.5	(44.5)	33.9	38.1	1.8	17.4

(注) 地上部重量、球重、球茎比、軟白部長は表1と同様。



写真1 出荷形態の葉たまねぎ

※出荷は、球の大きさを揃えて1袋に2株～4株を入れて、調整する。

- 【耕種概要】
- 1 供試品種：「シャルム」(タキイ種苗)
 - 2 は種・育苗方法：(セット球)セルトレイ288穴、市販育苗培土(窒素量1000mg/L・カネコ種苗ネギ職人)、吸水シート(ユニチカラブマットU)・防根シート(ユニチカラブシートブラック)による底面吸水方式。灌水は15分/3回/日行い、余剰水は適宜排水した。(セル苗)セルトレイ288穴、市販育苗培土(前出)、頭上灌水。
 - 3 定植前処理：(セット球)セルトレイ上で球径2cm程度まで肥大させた後に灌水を停止し、6月～7月上旬に遮光したハウス内で35℃を目安に高温処理、その後風通しのよい倉庫内で保管。
 - 4 栽植様式：株間15cm、条間15cm、うね幅135cm、5条植え、24,666株/10a、黒マルチ、無加温。
 - 5 施肥量：N:P:K各10kg/10a、燐硝安加里S555(アサヒエース)を使用。苦土石灰(M-10)を60kg/10a。苦土重焼燐を60kg/10a。